

救急救命士の業務のあり方等に関する検討会

第3回

日時：平成22年3月17日(水)16:00～18:00

場所：厚生労働省（6階）共用第8会議室

議事次第

【議題】

1. 検討会報告書（案）について
2. その他

<配布資料>

資料1 「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」報告書（案）

参考資料1 救急救命士の処置範囲の拡大に関する実証研究（イメージ）

参考資料2 厚生労働科学研究班提出資料

参考資料3 郡山委員提出資料

参考資料4 石井委員提出資料

参考資料5 第2回検討会の議事録

救急救命士の業務のあり方等に関する検討会
開催要綱

1. 目的

救急救命士については、平成3年の救急救命士法により創設された医療関係職種であり、医師の指示の下に、傷病者が病院又は診療所に搬送されるまでの間に救急救命処置を行うことを業とする者である。病院前救護を強化し傷病者の救命率の向上等を図るため、救急救命士の業務に関する要望が提起されており、救急医療提供体制の一層の充実を図る観点から救急救命士の業務のあり方等について検討を行う。

2. 構成員

- (1) 各分野の有識者により構成する。(別紙のとおり。)
- (2) 構成員のうち1人を座長として選出する。
- (3) 座長は、必要に応じ、検討に必要な有識者等の参加を求めることができる。

3. 検討内容

- (1) 救急救命士の業務範囲
- (2) 救急救命士の業務の実施体制、教育内容、検証体制
- (3) その他

4. 検討スケジュール

- 平成21年3月25日(水) 第1回を開催
平成22年2月 1日(月) 第2回を開催

5. 運営等

- (1) 検討会は、原則として公開するとともに、議事録を作成し、公表する。
- (2) 検討会は、医政局長が主催し、その庶務は医政局指導課において行う。